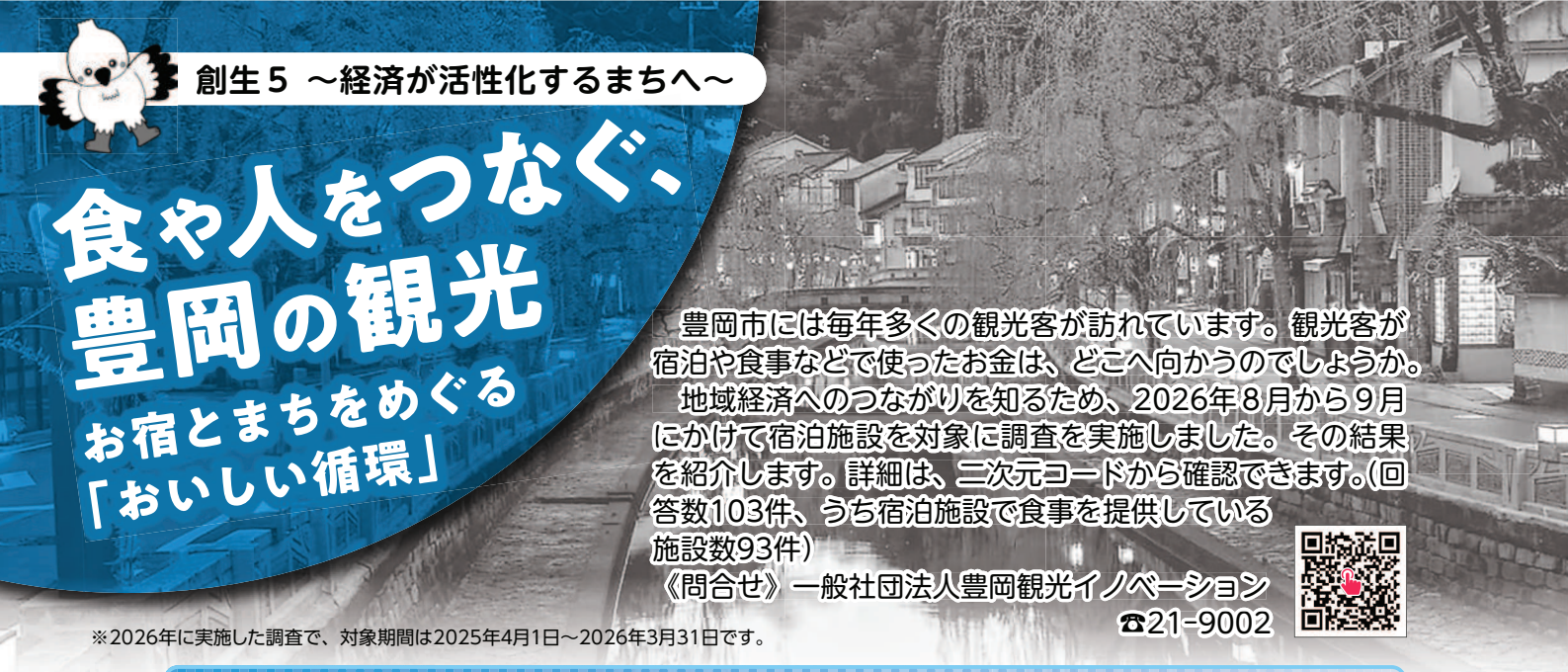


創生５ ～経済が活性化するまちへ～

食や人をつなぐ、豊岡の観光

お宿とまちをめぐる「おいしい循環」

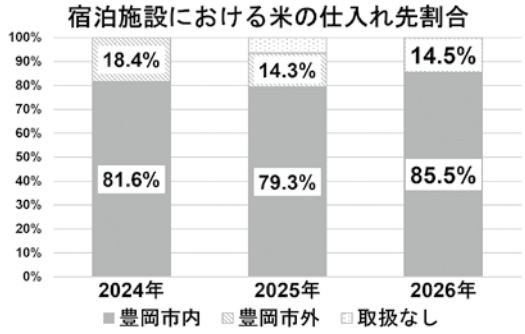
豊岡市には毎年多くの観光客が訪れています。観光客が宿泊や食事などで使ったお金は、どこへ向かうのでしょうか。

地域経済へのつながりを知るため、2026年８月から９月にかけて宿泊施設を対象に調査を実施しました。その結果を紹介します。詳細は、二次元コードから確認できます。(回答数103件、うち宿泊施設で食事を提供している施設数93件)

《問合せ》一般社団法人豊岡観光イノベーション ☎21-9002

※2026年に実施した調査で、対象期間は2025年4月1日～2026年3月31日です。

地域の事業者が支える豊岡の観光

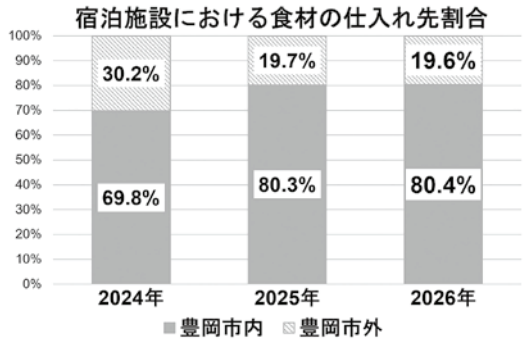


～お米の調達割合が回復～

お米を市内から仕入れている割合は、85.5％と、前回調査から6.2ポイント上昇しています。

前回の調査では市内生産米の確保が難しい状況が見られましたが、今回は市内生産米の調達が回復しています。

観光客に提供される食事を通じて、地域の生産者を支えることにもつながっています。



～市内調達率は高い水準を維持～

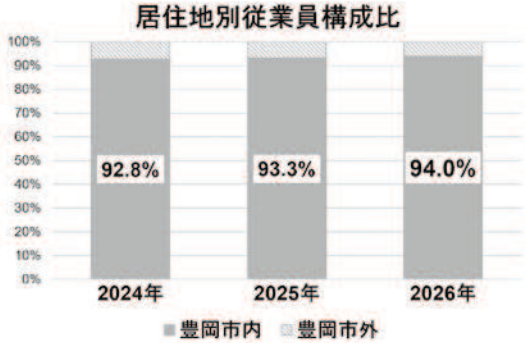
米、肉類、野菜、魚介類、果物、酒類を合わせた市内調達率は、前々回の調査から大きく上昇し、今回の調査でも約８割を維持しています。

宿泊施設による地域食材の仕入れは、生産者や事業者にとって大切な取引の一つであり、地域経済を支えることにもつながっています。

※食材を提供している宿泊施設の回答をもとに、６品目の仕入れ先割合を集計しています。「取扱なし」を除いて算出しており、実際の仕入金額に基づく割合ではありません。

※参考として、岐阜県高山市の宿泊業における中間投入の市内調達率は63.3％です。調査対象や算出方法が異なるため単純な比較はできませんが、本市でも地域食材の活用が進んでいることがうかがえます。(高山市2020年産業連関表参照)

観光のまちをつくる、地域の人たち



宿泊施設には、接客や調理、清掃など、さまざまな仕事があります。

今回の調査でも、宿泊施設で働く人の多くが豊岡市内に住んでいます。観光客を迎える仕事を担う人たちも、地域で暮らす市民の一人です。

宿泊施設で働く人に支払われる給与は、地域での買い物やサービスの利用にもつながります。観光は、訪れる人をもてなすだけでなく、そこで働く市民や地域のお店など、豊岡で暮らす多くの人の生活も支えています。

豊岡のおいしさを届ける人たち

■食材の味と品質にこだわり、お客さんの笑顔につなげる



神鍋ハイランドホテル
中島丈裕（なかしまたけひろ）さん

食材は、すべて豊岡市内の事業者から仕入れています。但馬牛をはじめ、お米や野菜、ニジマスなど、地元ならではの食材を活用しています。

品質はもちろん、必要な食材や数量が相談できたり、状況に応じて柔軟に対応していただけたりすることは、大変ありがたいことです。

また、地域のおいしい食材をお客さんに知っていただき、旅の楽しみや思い出となることで、豊岡・但馬の魅力をさらに高めることにもつながると考えています。地元の食材には、それだけの魅力や価値があると感じています。



▲豊岡の食の魅力を伝える会席料理

■日本海で獲れる魚のおいしさを知ってもらい、生産者へ還元されるサイクルを作りたい



おけしょう鮮魚
桶生美樹（おけしょうみき）さん

私たちは、魚介類の仕入れや販売の役割を担っています。城崎温泉へは松葉がにや温泉を目当てに来られるお客さんが多いですが、春はホタルイカ、夏は白いかなど季節の魚介を目当てに毎年来られるリピーターのお客さんも多く嬉しい限りです。

また、旅館で地元の魚を食べ、おいしかったからと買いに来られる方もおられます。観光客で賑わう今の城崎を見て、地元の子どもたちが将来帰ってきたいと思えるようなそんな魅力あるまちが続いていくよう、これからも頑張っていきたいです。



▲城崎の食を支える日本海の旬の魚介類

観光の効果を地域全体へ

観光による効果を地域全体に広げていくためには、観光客を呼び込むだけでなく、地域で働く人や事業者とのつながりも大切です。

（一社）豊岡観光イノベーションでは「観光を通じて地域を豊かにする」ことを目指し、観光地域づくりに取り組んでいます。



▲地域の未来を考える観光まちづくりセミナー

【主な取組み】
- 国内外への観光プロモーション
- データを活用した観光マーケティング
- 観光DXの推進
- 観光事業者向けセミナーの開催
- 地域事業者との連携強化
- 地域内での消費拡大に向けた取組み

観光客に選ばれる地域になることで、地域内での消費や雇用を生み出し、市民の皆さんの暮らしにもつながる好循環を目指しています。

これからも、人や食、仕事をつなぐ「おいしい循環」が地域に広がるよう、観光による地域活性化を進めていきます。



観光は地場産業。市内を見渡せば、春夏秋冬、いつでも自慢できる景色やおいしい食べ物に出会えるまちです。

ここで育つ子どもたちにも、その地域の宝をたくさん感じ、故郷を大好きになってほしい。

そして、大人になっても「豊岡で育ってよかった」と胸を張れる、そんなまちを目指します。